

□議員名：山田伸幸

1 宇宙監視レーダーについて

論点	レーダー基地建設に反対する市民の会が立ち上がり、様々な活動をおこなっている。市民は基地建設に不安を持っている。防衛省は住民説明会を開催するとしているが、開催はどうなったのか。
回答	本市としても市民の安心、安全のため、不安を解消するよう、早期に説明会を開催することを要望してきた。中国四国防衛局は、今後、シミュレーションの結果を踏まえ、夏頃に説明会を開催したいとの報告があった。しかし、コロナ禍の状況を考え防衛省と協議しながら慎重に判断をしていきたい。

論点	3月議会で藤田市長は「一番大切なのは実際に現地に設置をされ、それがいろんな稼働をされる中で本当にその設計どおりなのか」このように答弁しているが、市長はまず建設は容認するとの考えか。
回答	本格開始の前に実際にレーダー施設ができて、そのときに実際に数値が、実測値がどうなのか、それによって電波防護指針の基準内になっているのか。これが一番の市民の安心、安全の確保となっているか否かの判断をする基準になるのではないかというふうに考えている。

論点	ワクチン接種を希望していても、何らかの理由で接種できない人の把握と接種を進めていく考えはどうか。
回答	接種できていない人の把握ができていない。ワクチンの市民接種が進行している最中であり、十分に把握できないが、支援は必要と考えている。

2 新型コロナウイルスについて

論点	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の取組について、市長が管理する市役所は民間に比べると中途半端でしかない。密接状態の事務スペースは改善が見られない。また、市民と直接ふれあう職員についてはPCR検査実施を求めてきたが一向に進められていない。これで山陽小野田市は万全な対策をとっているといえるのか。
----	---

回答	感染症対策は市が取り組むべき最重要課題と考えている。感染収束に向けワクチン接種を進めている。市民が安全に接種できるように体制整備に努めていく。
----	---

論点	山陽小野田市として、市立の学校あるいは保育園、幼稚園などに通う子供たちをどのようにこの感染から守るかということが、私は市としての重要な課題と考える。子どもたちへの感染対策はどう考えているのか。
回答	児童生徒の感染のうち家庭内感染の占める割合は最も高く、家庭における感染防止対策が大変重要である。教育委員会としても、家庭内感染について防止に向けての呼びかけを行った。市内の小中学校では、国が策定している学校の新しい生活様式に沿って日常の感染症対策を確実にを行い、感染防止に努めている。